



\ 群馬県桐生市の田舎 /

くろほねで、 暮らす

令和5年4月発行 桐生市黒保根支所地域振興整備課
群馬県桐生市黒保根町水沼182-3
電話 0277-96-2110

メールでのお問い合わせ
k-chiikishinko@city.kiryu.lg.jp
右のQRコードを読み込むと
メーカーが立ち上がります。



目次

- 概要・・・・・・・・・・ 4
- くろほねの四季・・・・・・・・ 6
- くろほねであそぶ・・・・・・・・ 8
- くろほねの交通事情・・・・・・・・ 10
- くろほねで子育て・・・・・・・・ 12
- くろほねをまなぶ・・・・・・・・ 16
- ちょっとした暮らし・・・・・・・・ 18
- 移住者インタビュー・・・・・・・・ 24
- くろほね暮らしを検討しよう・・ 28
- 支援メニューのごあんない・・ 30

ようこそ、 くろほねへ

賀美都家野
久路保乃禰呂乃
久受葉我多
可奈師家兒良爾
伊夜射可里久母



黒保根町上野地区の様子



くろほねの由来

黒保根の地名は、万葉集の和歌

賀美都家野	かみつけの
久路保乃禰呂乃	くろほのねろの
久受葉我多	くずはがた
可奈師家兒良爾	かなしけこらに
伊夜射可里久母	いやさかりくも

にちなんでいます。

花と緑と清流の里、黒保根

黒保根は、群馬県桐生市の北西部の山間地にあります。

東京都内からは電車と車で約2時間という、近すぎず遠すぎずのほどよい距離。

古くは平安時代に奥州から京に上る道沿いとして、また江戸時代になると、足尾銅山から銅を搬出する街道沿いとして賑わいました。

今では国道122号と旧国鉄足尾線のわたらせ溪谷鐵道が渡良瀬川に沿って走っています。

国有林を含め、地域の約9割は森林です。かつて主産業であった養蚕が減少し、畜産や耕種型農業が営まれています。



秋

冬



くろほねの四季



夏

春



あそぶ

自然を一日味わい 尽くそう！

赤城山の麓にある黒保根は、自然が遊び相手。朝は山の端から光が溢れ、時とともに換わる動物たちの声、稜線にかかる沈みゆく夕陽、頭上を覆う星々の輝き。

「黒保根は一日とて同じ日はないよ、自然の奥行きが違う」と言う人もいます。

2つの森林公園で キャンプ・バーベキュー

黒保根には、利平茶屋森林公園と花見ヶ原森林公園があり、公営のキャンプ場となっています。

それぞれにテントサイトとバンガローがあり、バーベキューも楽しめます。



利平茶屋森林公園
☎0277-96-2588
花見ヶ原森林公園
☎0277-96-3131

※利平茶屋森林公園と花見ヶ原森林公園は、令和5年度から指定管理(公設民営)施設になります。

◀利平茶屋森林公園
▼花見ヶ原森林公園



荒神山展望台から見た景色

荒神山ハイキング

黒保根地域を一望できるのが荒神山。赤城山から渡良瀬川を挟んだ対岸にあり、標高約600mにある展望台からは、山頂の黒檜山、駒ヶ岳、鳥居峠、長七郎岳を含む赤城山一帯や、日光の男体山が見えます。水沼駅からは約50分程度で登れますので、日ごろの体力づくりに登る人も。植生が豊かなので、植物観察に訪れる人もいます。



道の駅でくろほねの食・材を堪能！

国道122号線沿いにある、桐生市唯一の道の駅。お食事処では、黒保根産の食材をふんだんに取り入れたメニューをご用意しています。

なかでも天ぷらともつ煮は自慢のイッピン。手間暇と愛情をかけて作った田舎の風情を感じる料理を召し上がれ。

直売所では地域のとれたて野菜や、やまびこオリジナルの味噌、冬には大人気の手作り干し芋などを販売しています。



道の駅くろほね・やまびこ
☎0277-96-2575



一日の終わりには温泉でリトリート

水沼駅には、ちょっと珍しい駅併設の温泉センターがあります。せせらぎの湯でゆっくり温まったあとは、食堂でお腹を満たして。お土産も販売していますので、黒保根に遊びに来たお友達とあれやこれや選ぶ時間も楽しいかもしれません。

水沼駅温泉センター
☎0277-96-2500

